



萌木

7月号



調布市立第七中学校

校長 山田 勝

令和5年7月12日発行

～自尊・立志・感動～

校訓

校長 山田 勝

本校では、教育活動を進めるにあたり、校訓「自尊・立志・感動」を掲げその実現に向けて取り組んでいます。私も体育祭や入学式、始業式などの行事の時、校訓からどのように取り組むかを生徒に向け発信しています。

校訓 「自尊・立志・感動」	～徳・知・体の調和のとれた生徒の育成～
「徳」自尊 …	自分を大切にし、思いやりの心を持つ生徒
「知」立志 …	夢や目標を持ち、絶えず学び続ける生徒
「体」感動 …	心と体を鍛え、爽やかな感動を生む生徒

今年開校48年目を迎えた本校は6688名の卒業生を送り出していますが、このように育ってほしいという七中生に関わってきた多くの方々の思いの中で七中は歩んできました。

その思いの最大公約数として集約されたものが校訓です。「自尊・立志・感動」の6文字に多くの思いが込められています。今まではその思いの多くの部分を教員のものが占めてきました。

これからは学校を取り巻く環境が複雑化・多様化している中で、地域でどのように子どもたちを育てるのか、何を実現していくのかを共有し、地域と一体となって子どもたちを育てる「地域とともにある学校」作りが必要となってきます。その体制の基盤となるコミュニティスクールという制度を、本校でも来年度から導入していくことを目指しています。今まで以上に保護者・地域住民の皆さまの思いを校訓に込めていくことができるような体制にしていきます。

思いが多くなるほど、集約することが難しくなりますが、様々な思いをすべて網羅できるような最小公倍数的な扱いではなく、本校の校訓のように、短い言葉の中に思いが込められる最大公約数的な表現にすることで、より目標を明確にしていけると思います。

今までもこれからも、この「自尊・立志・感動」という校訓に思いを乗せて教育活動を進めて参ります。

これから迎える夏休みに向けて校訓「自尊・立志・感動」に基づいて、次のような発信をしています。

- | |
|--|
| ○ 「自尊」【自分を大切にし、思いやりの心を持つ生徒】について |
| ・みなさん一人一人はかけがえのない存在です。「自分を大切にし、他の人を大切にする」ことを意識して生活していきましょう。感染対策やSNSのトラブル防止なども周りに配慮する姿勢が、自分を大切にすることにもつながります。当たり前のこともしっかり取り組みましょう。 |
| ○ 「立志」【夢や目標を持ち、絶えず学び続ける生徒】について |
| ・自分の興味・関心のあることについて、さらに学習を深めていきましょう。休み中の自発的な学習は、自分を高め、自信につながります。中学校1年生の、あるいは、2年生、3年生の夏は人生に一度しかありません。1学期の学習の結果を振り返り、不得意な教科や単元の学習に積極的に取り組み、学力向上を図りましょう。 |
| ○ 「感動」【心と体を鍛え、感動を生む生徒】について |
| ・4つの生活習慣「体を動かすこと」「食べること」「寝ること」「排泄すること」が良いサイクルで連鎖することで、学びへの土台・環境が整います。生理的欲求以外である「体を動かすこと」を意識して、自分の生活リズムを整えていきましょう。 |